



Taka Ishii

Gallery

Kyoto

483 Nishigawa-cho Shimogyo-ku Kyoto
#600-8325, Japan

tel 075 353 9807

fax 075 353 9808

web www.takaishiigallery.com

email kyoto@takaishiigallery.com

佐伯洋江 展

2012年9月7日(金) - 10月13日(土)

オープニング・レセプション：2012年9月7日(金) 18:00 - 20:00

同時開催 gallery 2：坂村岳志 展(9月7日-12日)、立花英久 展(9月15日-10月13日)

タカ・イシイギャラリー京都では2012年9月7日(金)から10月13日(土)まで、gallery 1にて佐伯洋江の新作展を開催致します。

佐伯は初期作品からケント紙にシャープペンシルで緻密に描き込むという手法を貫いてきました。本展ではこれまで使用してきた色鉛筆やアクリルに加え、新たな質感を生み出す水彩やパステルによってディテールまで美しく彩られた新作ドローイングを発表します。

「佐伯洋江は、無数の細い線を集積して複雑なドローイングを制作する。細かな線を繰り返し引く作業が、網目模様を作り出し、そこから面や微妙な色合いが生まれる。線の集積や鬚状組織から、木の枝や葉のような延長部を持つ植物のような物体が合成される。そんな延長部からさらに、様々な寄生体が伸びて、花や蔓に似たものを付けている。その物体は、異質なものを宿らせているために、ひとつの主体では定義できない複合的な生命体のイメージを捉える。」

松井みどり『ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開』（国際交流基金海外巡回展）美術出版社、2009年、p.72より引用

【佐伯洋江プロフィール】

1978年大阪生まれ。2001年京都精華大学美術学部デザイン学科ビジュアルコミュニケーションデザイン・コース卒業。

2004年にタカ・イシイギャラリーの展覧会でデビュー後、2006年にVOCA奨励賞を受賞。同年Galerie Almine Rech(パリ)にて海外での初個展を開催。2007年以降、「線の迷宮<ラビリンス>II-鉛筆と黒鉛の旋律」(目黒区美術館)、「アーティスト・ファイル 2008-現代の作家たち」(国立新美術館)、「ネオテニー・ジャパン-高橋コレクション」(鹿児島県霧島アートの森、札幌芸術の森美術館、上野の森美術館など全国を巡回)、「ウィンター・ガーデン：日本現代美術におけるマイクロポップ的想像力の展開」(原美術館、世界各国を巡回中)、「アート・スコープ 2009-2011 インヴィジブル・メモリーズ」(原美術館)に出品するなど、発表の場を次々と広げて活躍している。

代表的な作品集としては2007年にS.O.L.(seeds of life)より刊行された『HIROE SAEKI WORKS』が挙げられる。

2010年にはダイムラー・ファウンデーション・イン・ジャパン「アート・スコープ」プログラムによりベルリンで初めてのアーティスト・イン・レジデンスを経験し、さらに2012年秋からは新進芸術家海外研修制度(文化庁)助成でヨーロッパに滞在予定。



佐伯洋江 Hiroe Saeki

Untitled, 2012

紙にシャープペンシル、色鉛筆、アクリル、水彩 / Pencil, acrylic, and watercolor on paper

73 x 105 cm

是非、貴誌・貴社にてご紹介下さいますよう宜しくお願い致します。

尚、掲載用写真の貸出など、ご質問がございましたら下記までお問い合わせ下さいませ。

【お問合せ先】 タカ・イシイギャラリー京都（担当：安丸）

〒600-8325 京都市下京区西側町 483 番地（西洞院通 / 新花屋町通 西南角）

Tel: 075-353-9807 e-mail: kyoto@takaishiigallery.com

営業時間：11:00 - 19:00 定休日：日・月・祝祭日